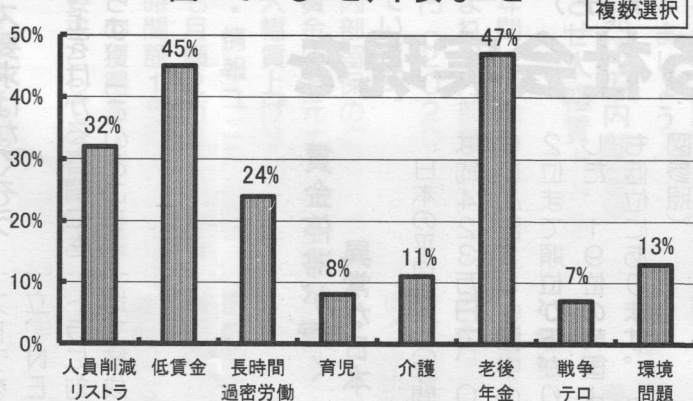


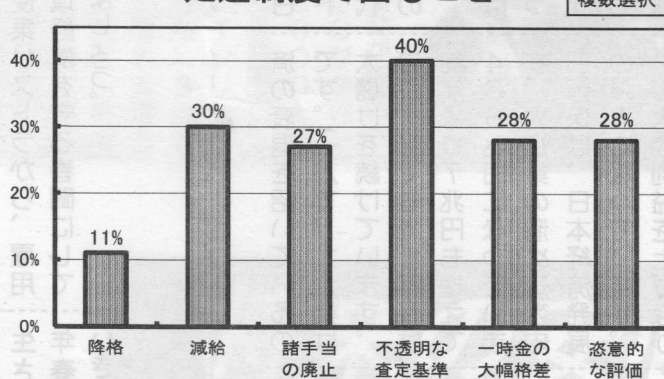
アンケートへのご協力ありがとうございました

困っていること、不安なこと



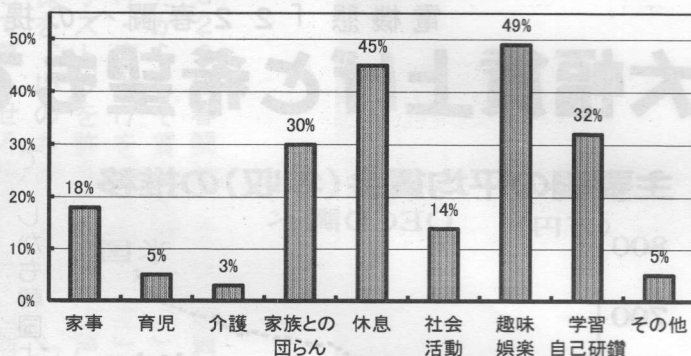
全体集計では、「年金・老後」が47%と最も高くなりました。2番目は「低賃金」で45%でした。これらは昨年を除く例年の傾向と同じですので、秋口よりコロナ禍の影響が少し緩和されたためとも考えられます。3番目に「人員削減・リストラ」が32%で続きます。以上から、将来を含めた経済的な不安の強さが浮き彫りになっています。

処遇制度で困ること



16春闘時から設問している「処遇制度」に関しては、昨年に続き「不透明な査定」がトップの40%となりました。年齢で比較すると、若い世代ほど「不透明な査定」や「諸手当の廃止」を上げる傾向があり、年齢が上がるにつれて「一時金の大幅な格差」が上がる傾向が見られました。また、2番に高い「減給」については、40代で高くなる傾向が見えています。

生活で不足している時間

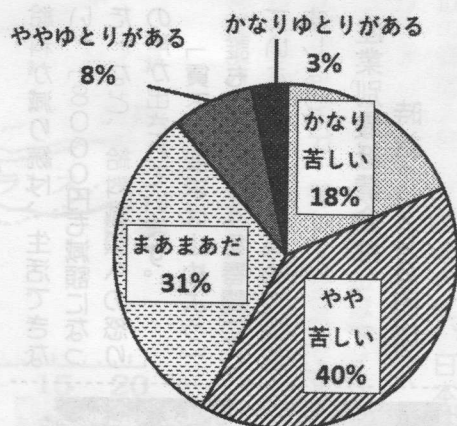


今回初めて設問した「生活で不足する時間」は、上表の結果となりました。生活実感で苦しいと答えた方に「休息」と回答する割合が高く、「ゆとりがある」と回答した方は、「学習・自己研鑽」が高くなる傾向が見られました。

アンケートに寄せられた声！

- ◆早期退職で再就職支援すると言っておいて、全くなし。派遣で仕事しています。50代で金が少なく大変困っています。鬱です。助けて下さい。自殺ばかり考えています。（日立、男性）
- ◆硬直的な人事制度・評価制度の見直し・全体的な年収レベルの向上・一時金の大幅格差の見直しに向けて、積極的な交渉活動を期待します。（シャープ、男性）
- ◆私はパワハラを受け休職しました。医師の診断書も提出しましたが、会社側はパワハラを認めず、最終的には私が減給処分を受けました。本当にひどい会社だと思います。（三菱電機、男性）
- ◆大卒4年目で給料は月額23万で、手取りだと17万や18万になる。ここから家賃、光熱費など生活費を引くと貯金や遊びなどのお金は無い。今を生きることで精一杯である。大幅な賃上げをすることを強く望む。（NEC、男性）
- ◆同僚間の技術的な会話が重要であるという雰囲気欲しい。勤めている人が積極的にスキルを上げたり、前向きな気持ちになるよう、昇給は必要と思う。（ルネサス、女性）
- ◆転籍して給料が1割ダウンだったが、12月の一時金も1割ダウンした。（沖電気、女性）

生活実感は？



生活実感では、「かなり苦しい」「やや苦しい」を合わせると58%と、昨年より若干上昇しました。一方で、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」の合計も11%と上昇し、2極化が進んでいる可能性があります。

年代別では、「かなり苦しい」と答えた割合が40代で31%と最も高いのが特徴で、扶養家族の有無との比較では、扶養家族の有る人の方が全体的に苦しいと回答する傾向が高まっています。